



# やまだ

## 議会だより

No. 157

2017. 11. 1発行  
岩手県山田町議会



### 家族で応援

（三陸縦貫自動車道で  
行われた町民駅伝大会）

#### 平成29年9月 第3回定例会

- 9月定例会のあらまし — 2P
- 町の考えは（一般質問） — 11P
- 委員会レポート — 19P

# 東日本大震災

# 関連事業に256億円

一般会計歳出 455億2986万円

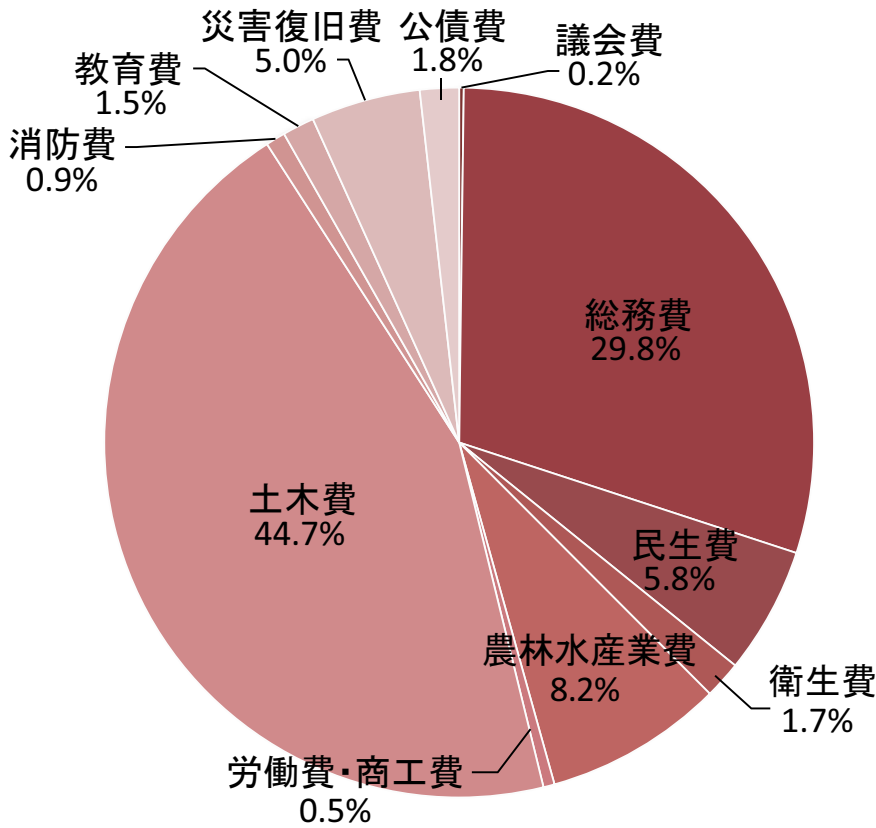
前年度比 △30億1558万円 (6.2%減)

平成29年9月定例会は9月6日から12日  
まで7日間にわたって開かれました。  
町長提案の議案11件を審議し、全て原案  
のとおり可決しました。

28年度決算8件は、決算特別委員会を設  
置して9月11日と12日の2日間にわたって  
集中的に審議し、全て原案のとおり認定し  
ました。(2～7ページ)

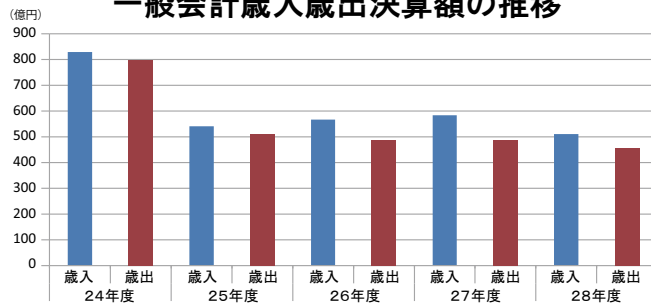
一般質問では7人の議員が登壇し、活発  
な議論が行われました。(11～18ページ)  
また、請願が1件提出され委員会付託の  
結果、採択されました。

## 使ったお金 (歳出)



※グラフ中の数字は、端数処理の関係から合計と一致しない場合があります。  
※2～7ページの金額表記は1万円未満切り捨てです。

## 一般会計歳入歳出決算額の推移



※水道事業会計を除いた全ての会計の合計額です。

定例会や臨時会などの議案審議  
や一般質問での質疑全文を記録  
した会議録は、12月下旬ころか  
ら、議会ホームページ、ふれあ  
いセンターで閲覧可能となる予  
定です。

決算の焦点

**平** 成28年度一般会計の決算状況は、歳入が510億8007万円、27年度より72億8520万円（12・5%）の減となりました。

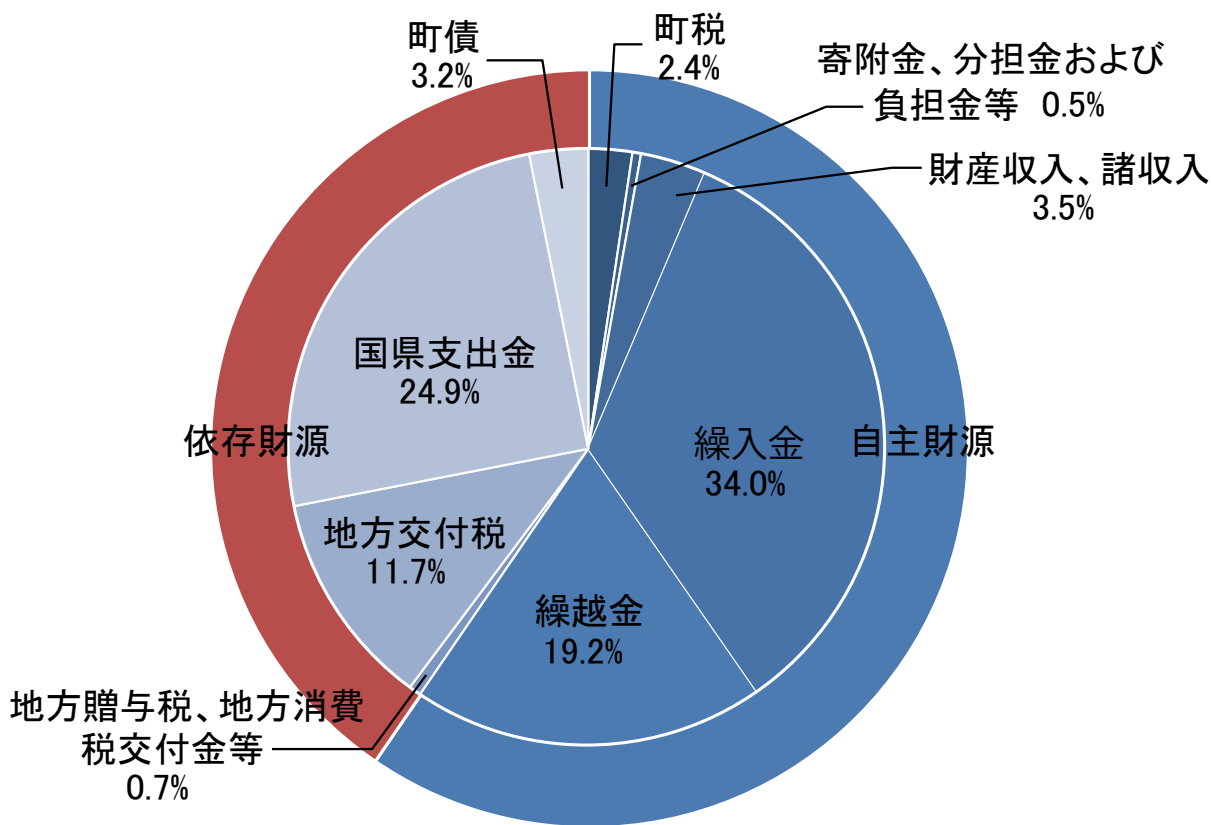
**自** 主財源（※1）は町税、分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入、寄附金などで304億2327万円となり、依存財源（※2）は国庫・県支出金などで206億5679万円となりました。

**歳** 出は455億2986万円で、27年度より30億1558万円（6・2%）の減となりました。歳出では、東日本大震災関連事業が256億614万円となり、歳出決算額の約56%を占めました。

※1 自主財源とは  
町税などの町で集めたお金のこと

※2 依存財源とは  
国・県補助金などの町で集めたお金以外のお金のこと

入ってきたお金（歳入）



各会計の決算状況

会計名	一般会計	特別会計						水道事業会計	
		国民健康保険	後期高齢者医療	介護保険	介護保険 (サービス事業勘定)	漁業集落排水 処理事業	公共下水道 事業	収益的収支	資本的収支
歳入	510億 8007万円	30億 4426万円	1億 5764万円	18億 3344万円	395万円	2億 19万円	15億 2812万円	3億 6384万円	3億 2069万円
前年度比	△72億 8520万円	△2億 1369万円	640万円	7567万円	△190万円	2742万円	△3億 1872万円	242万円	1億 6055万円
歳出	455億 2986万円	30億 2569万円	1億 5763万円	17億 3701万円	257万円	1億 9830万円	14億 9961万円	3億 2534万円	5億 5887万円
前年度比	△30億 1558万円	△2億 2274万円	688万円	7002万円	△316万円	5903万円	1億 4843万円	△1380万円	3億 2201万円



# 決算の 細部まで チェック

委員会での審議の概要をお伝えします。

## 住民協働

町営災害公営住宅コミュニティ形成支援業務委託料  
119万円



地域に応じたコミュニティ形成で真の復興へ

**問** 災害公営住宅の自治会設立の進捗状況は。また、高齢者や一人暮らしの方が集まり等に参加するための支援策は。

**復興企画課** 28年12月に山田中央団地の入居が始まり、現在、そのコミュニティ形成に取り組んでいる。住民同士の交流会から始め、自治会設立準備

委員を選出し、その方々を中心となり検討している。また、これまでの決定事項を各戸に配布するなど周知を工夫している。

**問** これから長崎地区等にも災害公営住宅ができるが、山田中央団地と同じ手法なのか。

**復興企画課** 山田中央団地はひとつのモデルケースになればと考えている。最終的には新たな自主組織立ち上げが目標だが、それぞれの地域に応じたコミュニティ形成が大事であり、地域によっては既存のコミュニティとの融合も視野に入れ、住民の皆さんと相談しながら進めたい。

## 環境衛生

町ごみ集積箱購入事業費補助金  
44万円



ごみステーション購入にも補助制度があります

**問** 28年度は15件と結構利用されているが、どのような形でお知らせをしているのか。

**町民課** ごみ集積箱設置に対する問い合わせがあった際に補助申請も伝えて

ている。

**問** 問い合わせがあった際にお知らせするのではなく、需要が大きいものなので行政区長会議等で周知すべきであるが。

**町民課** 確かに需要が増えてきているので、行政区長会議もしくは広報等で定期的にアピールをしていく。

## 産業

震災復興型賑わい創出推進組織検討調査業務委託料  
1742万円

**問** この業務委託の内容は。

**水産商工課** ハード整備が進む中、にぎわいを創出し誘客につなげていくといった課題に対し、その取り組みを推進する主体となるにぎわい創出推進組織の立ち上げや運営について必要な検討調査を行うことを目的としている。

具体的な調査の流れは、組織形態の検討調査、事業採算性の検討調査、設立に向けた準備といったところである。

**問** この調査の結果を今後どのようににぎわいを生かしていくのか。

**水産商工課** 地域商社のありよう、体験観光のありようを調査内容としている。地域商社の設立に向け、その結果に基づき次のステージに入る。

健康

患者輸送車運行委託料  
307万円

**問** 患者輸送バスの利用者が結構あるようだが、その利用状況は。また運行表が変わったと聞か、それにより不便になったという話はないか。

**健康子ども課** 28年度はバス2台で4地区を巡回したが、29年度は1台で4地区を巡回している。月平均の利用者数は前年度とあまり変わらない。要望があれば随時確認している。

**問** 台数を減らしたことで遠回りする人もあり、乗っている時間も長く不便だと思う。自分の足がない人にとっては重要な交通手段の1つであるので2台に戻せないか。また運行は毎日なのか。

**健康子ども課** 患者輸送バスの目的は無医地区の医療確保である。無医地

区は豊間根地区の一部と織笠の外山地区が認定されており、今まで走っていた大浦地区は無医地区から除外されている。大浦地区を急になくすことはせずに1台の運行で事業継続したい。運行回数は週それぞれ2回である。

**問** 町では子宮頸がんワクチンの接種の案内を見合わせているが、代わりに子宮頸がん検診の受診者が増えるようにすべきでは。

**健康子ども課** 対象となる住民が減っており受診者数に響いている。受診率で見ると若干低くなっているが横ばいと捉えている。初めて子宮頸がん検診の対象となる20歳の方に対しては、無料受診できるクーポンを出すなどして今後も受診者増に努めていく。

防犯

街路灯設置工事費  
街路灯等修繕料  
計 778万円

**問** 街路灯は何カ所設置したのか。今後、設置・修繕する場合、LEDの灯具を取り付ける考え方になっているか。

**建設課** 街路灯は9カ所に設置した。LED灯具が主流であるので、修繕の際に順次切り替えている。

**問** 修繕したあとの街路灯を見ると通常の灯具がついていることが多い。考え方が徹底されているのか。

**建設課** 灯具が使える状態であれば蛍光管の交換で対応しており、壊れて使えない状態であればLED灯に交換している。

公園

都市公園管理謝礼金  
11万円

**問** 公園管理費が11万円程度とかなり少ないが、これは地域の方と協力しながら行ってきたからであると思う。公園の現状を見ると、適切な管理が難しくなってきたように思うがどうか。

**建設課** なかよし公園、大沢公園の2カ所の管理を住民組織に委託している。内容は園内のごみ拾い等である。草刈りなどの対応しきれない部分についてはシルバー人材センターに依頼している。今後、復興事業の進捗により公園施設が増すことから管理が大変になると予想されるが、地区住民組織にお願いしながら管理に努めたい。

**問** 住民組織に管理委託しているとのことだが、現状で対応できていない部分があると思う。特に

トイレについては、かなり汚れており使えない状況である。町として何かしら考えて動くべきと思うが。

体40年以上たっている。月1回は掃除をしてもらっているが、施設の老朽化から管理が難しい。住民組織でカバーしきれない部分については町で見えていく考えである。



地域の憩いの場である公園の適切管理を



# 決算の細部までチェック

委員会での審議の概要をお伝えします。

## 住宅再建支援

被災者再建住居移転補助金  
1485万円

**問** 仮設住宅から引越す際に掃除をすることとなっているが、その費用は補助金で賄えるのか。また掃除業者に聞くと、地区や検査をする人によって対応が違うという。そして今の時期、空いた仮設に入居する方はいないと思うが、費用をかけてまで掃除をするのは無駄ではないのか。

**復興企画課** 引越しの補助対象額は引越業者に支払った実費分である。掃除に関しては、自分でするかシルバー人材センターに依頼して対応してもらっている。

**建築住宅課** どの仮設住宅

宅であっても掃除の仕方は変わらない。使った仮設住宅はきれいに返すようにお願いしている。

**問** きれいに掃除をしたあとも使うのであれば分かるが、使わないで解体すると被災者に対して余計な出費を強いていることになる。そのようにしなくてもいいようにできないか。

シルバー人材センターに検査を依頼しているようだが、検査をする人によって厳しい人と厳しくない人がいるようだが。

**建築住宅課** 基本的には使ったものに関して、きれいに返すようお願いしている。掃除の方はできる範囲の中で頼んでおり、隅から隅までとはお願いしていない。また、検査の仕方について人により違いがあるようなので、統一性を持って検査してもらうよう指導する。

## 消防防災

消防屯所施設修繕料  
23万円

**問** どの施設を修繕したのか。

災害復旧事業により被災した屯所が全部建つこととなった。第7分団屯所にも水は上がったが、災害復旧事業等に該当し



消防団は町の宝です  
(津波被害に遭うも修繕した第7分団屯所)

なかつたのか。

**消防防災課** 第10分団屯所の窓ガラス、第12分団屯所の雨どいなどを修繕した。また消火栓の修理等を行った。

**問** 第7分団屯所は人の背の上まで水が上がった

にも関わらず、現状のまま使われているということ、今後の消防団施設の管理方針というのはどう考えているのか。

**消防防災課** 確かに津波により被災しているが、当時の判断で改修して使用できるということ、現在に至っている。今後破損等があれば、その都度補修しながら延命を図っていきたい。

## 教育

学力検査等委託料  
(小学校・中学校)  
計 106万円

**問** 学力テストの結果において、小学校に関しては全国同等くらいとあるが、中学校に関しては正答率が数学、英語で10ポイント以上、下回っている。これは震災による影響か。

**学校教育課** 8月末、全国学力調査の結果が公表された。29年度の結果

は、小学校・国語A、国語B、算数A、算数Bの4つのテスト全てで28年度より向上した。全国平均を100とした場合の指数も97から100の間であり全国水準同等の力をつけている。中学校は国語が28年度より向上し全国水準同等である。課題が多いのは数学で、若干の向上はあるものの全国水準を下回っており、今後も改善に向けて重点的に取り組む。英語は31年度から全国学力調査の新規科目となる。29年度、小中学校合同の外国語活動研修会等を実施し、指導力向上に取り組んでいる。

さらに英語については、英語検定手数料として28年度から新規事業を立ち上げている。子供たちに英語検定を無料で受けさせ「やればできる」という自信を持たせられる取り組みをしたい。

文化・スポーツ

町スポーツ・文化大会等参加費補助金  
町芸術文化協会補助金  
計 174万円



スポーツ、文化、両面で秀でた町に

**問** 当町においても文化面で活躍している方が多くおり、西洋画等のコンクールで実績を残してい

る方もいる。そのような方たちに対し補助金の種類が少ないと思うが。  
**生涯学習課** 28年度はなかったが、過去、全国大会に出場する文化団体に対して、町スポーツ文化大会等参加費補助金を助成した実績がある。また県や全国で活躍している町民の皆さんを講師として団体に派遣する事業を

実施している。それにより素晴らしい知識や技術を生かす場として活用してもらっている。  
**問** 当町出身の方の中には文化面でかなり高いレベルの方もいる。その一流の技を披露する機会が

あってもいいと考えるがどうか。  
**生涯学習課** 芸術祭等を通して展示会を開く等の形で進めていきたいと思う。また各団体等に研修の機会を与えていければと考える。

各会計の採決結果

議案番号	認定第1号	認定第2号	認定第3号	認定第4号	認定第5号	認定第6号	認定第7号	認定第8号
会計名	一般会計	特別会計						水道事業会計
		国民健康保険	後期高齢者医療	介護保険	介護保険(サービス事業勘定)	漁業集落排水処理事業	公共下水道事業	
採決結果	全員賛成で原案認定							

討論

《一般会計》

賛成

関 清貴議員

大型予算の執行に敬意  
町民に寄り添った事業を期待

28年度は山田町総合計画・第9次長期計画の初年度、山田町復興計画再生期3年目に当たり、町内の復興事業は、防潮堤や国道周辺の整備など着々と進んでいる。

28年度一般会計決算は、歳入510億8007万円、歳出455億2986万円、55億5020万円が翌年度へ繰り越しとなり、前年度と比較し歳入で12・5%減少、歳出で6・2%減少したが、震災前と比べると依然として規模の大きい決算となった。この規模の大きな予算を執行して決算をした佐藤町長をはじめ

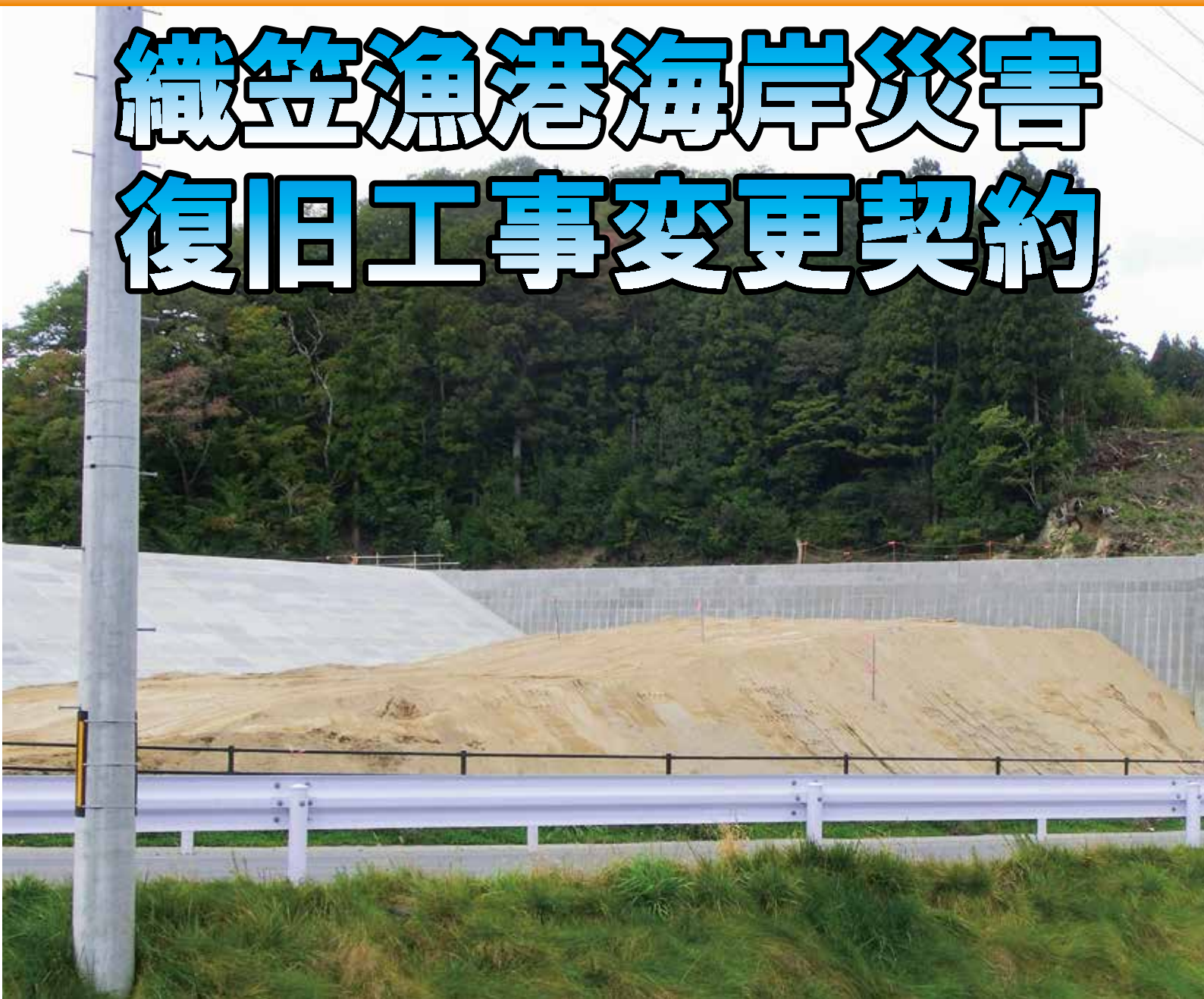
め職員、支援職員のご苦労に対し敬意を表するものである。

復興事業により町債の年度末現在高は78億5865万円で前年度と比較し12・3%増加したが、実質公債費率は8・7%と前年度より1・2ポイント低くなり、良好な状態となった決算である。まだまだ続く復興事業であるが、ハード事業はもちろんのこと町民に寄り添ったソフト事業の充実を期待して、未来が楽しみな町づくりを進めていただきたい。

※反対討論なし



# 織笠漁港海岸災害 復旧工事変更契約



国道45号は写真中央の盛り土の上に整備されます

## 契約額25億7486万円に 国道45号は防潮堤を乗り越しつながら

**東** 日本大震災で被災した織笠漁港海岸の災害復旧工事は、国道45号との交差部の構造変更によって傾斜堤施工延長が短縮され、また、直立堤施工延長が延伸されることなどから変更契約が提案され、全員賛成で可決しました。

**こ** れにより織笠地区の国道45号は、織笠大橋から北に向かって進み、防潮堤の上を乗り越してつながることになります。

### ■主な変更内容

- ① 国道45号との交差部の構造変更により、傾斜堤施工延長を短縮し直立堤施工延長を延伸。
- ② 交差部の構造変更による地盤改良の施工延長の延伸に加え、湧水対策として施工箇所側の地盤改良を増工。地盤改良にウオータージェット工法を併用。
- ③ 一般型枠を残存型枠に変更。
- ④ インプレスライドを適用。





# 29年度一般会計補正予算 (第2号)など5件の補正予算を可決

予算全体の所要額を見直し、今年度中の適正な予算執行を確保することを目的に一般会計補正予算(第2号)など5件の補正予算が提案され、全員賛成で可決されました。

## 〈一般会計〉

27億4648万円増額し

399億3746万円に

### ■主な質疑

**問** 学校適正化検討委員会は何人ぐらいの委員で、何回開催し、どのような分野の方々から選考するのか。

**箱山教育次長** 委員会の人数は20人以上ということとで進めている。回数は本年度内に3回開催したい。構成員は、学識経験者、児童生徒の保護者代表、校長会から推薦をもらい校長先生方2人、地区の代表者など町内でバ

ランスよく選定したいと思っている。あとスポーツ少年団の活動の観点から社会教育関係者も考えている。また、学識経験者については、町で初めて大がかりに取り組むことでもあるので、県内で実績のある方ということで、岩手大学の教授を何とかお願いできないかと進めている。もう1人について、町外から学識経験者2名を入れることで調整を進めている。

## 財政健全化判断比率

### 良好な状態

地方公共団体の財政の早期健全化や再生の必要性を判断するため、次の4つの財政指標を「財政健全化判断比率」として定めています。

本町の28年度財政健全化判断比率は、町監査委員の審査の結果、「いずれの比率についても、良好な状態にあると認められ、特に指摘すべき事項はない」との報告を受けました。

### ■財政健全化判断比率

①実質赤字比率  
一般会計で生じた実質赤字額の標準財政規模に対する比率

## 公営企業会計資金不足比率

### 良好な状態

公営企業会計資金不足比率とは、公営企業ごとの資金の不足額が、事業の規模に対してどの程度あるかを示すものです。本町の3つの公営企業

会計においては、町監査委員の審査の結果、「良好な状態にあると認められ、特に指摘すべき事項はない」との報告を受けました。

## 第4回臨時会 (7月10日)

議案1件を審議し、原案のとおり可決しました。

■山田地区復興整備事業  
業務委託の変更協定を締結

▽変更前協定金額

518億9664万円

▽変更後協定金額

522億9664万円

▽協定の相手方

独立行政法人都市再生機構岩手震災復興支援本部(盛岡市)

## 第5回臨時会 (7月31日)

議案1件を審議し、原案のとおり可決しました。

■町民総合運動公園ラグビー・サッカー場人工芝新設工事の請負契約を締結

▽工期  
29年8月4日

▽契約請負額  
30年1月15日

1億206万円

▽受注者

三好建設株式会社  
(宮古市)

## 第6回臨時会 (8月24日)

議案1件を審議し、原案のとおり可決しました。

■町消防団第6分団消防屯所建設工事の請負契約を締結

▽工期

29年9月1日

▽契約請負額  
30年3月15日

5605万円

▽受注者

佐々勇建設株式会社  
(宮古市)



# ～町政を問う～

## 一般質問 — 町の考えは —

9月定例会での一般質問は、6日と7日の2日間にわたって行われ、7人の議員が34件の一般質問をし活発な議論が展開されました。

質問議員 (質問順)	質問事項	掲載 ページ
尾形 英明	<ul style="list-style-type: none"> <li>○国の工事や県の工事に対する町の関与について</li> <li>○幼稚園と保育園の統合について</li> <li>○台風10号で災害査定を受けた場所の復旧工事と単独事業の施工時期について</li> <li>○患者輸送車等の増便について</li> <li>○豊間根地区の排水路整備について</li> </ul>	12
阿部 幸一	<ul style="list-style-type: none"> <li>○町有地について</li> <li>○退職した町職員の再就職について</li> <li>○一般会計当初予算について</li> <li>○ごみの収集運搬について</li> <li>○町債について</li> <li>○小学校の統合について</li> <li>○要支援者のサービスについて</li> </ul>	13
菊地 光明	<ul style="list-style-type: none"> <li>○町民グラウンドについて</li> <li>○仮設住宅集約について</li> <li>○東日本大震災の災害復旧について</li> <li>○町有地について</li> <li>○小中学校について</li> <li>○山田駅について</li> <li>○山谷地区集会所について</li> <li>○選手強化について</li> <li>○指定管理者制度について</li> </ul>	14
佐藤 克典	<ul style="list-style-type: none"> <li>○冷害対策について</li> <li>○台風10号による被災箇所の復旧状況について</li> <li>○三陸沿岸道路開通後の経済対策について</li> </ul>	15
関 清貴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○町有地の利活用について</li> <li>○復興後の産業振興について</li> <li>○教育環境について</li> </ul>	16
木村 洋子	<ul style="list-style-type: none"> <li>○山田病院の医師の退職について</li> <li>○医療費窓口負担の免除について</li> <li>○被災者の住まいの再建と支援の在り方について</li> <li>○宇名田地区の道路の安全確保について</li> </ul>	17
田老 賢也	<ul style="list-style-type: none"> <li>○町ホームページの改善について</li> <li>○山田第3団地の土砂災害対策について</li> <li>○山田町総合戦略の進捗について</li> </ul>	18

一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針などについて所信を聞き、報告や説明を求め疑問点をたずねることです。

議員の質問時間は 1人20分以内で、町側の答弁時間は含みません。

# 幼稚園と保育園の統合は

## 幼保統廃合の適否を検討中



尾形 英明 議員  
( 新 生 会 )

**問** かねてより幼稚園と保育園は、国の管轄の違いからその利用の在り方について論議されてきました。町内の子供たちが置かれている状況を見ると、幼稚園と保育園双方の課題を考慮しながら統廃合等の環境の整備を進めるべきだ。

**佐藤町長** 現在、町全体での幼保統廃合の適否について検討しているところであり、その中で方向性を探っていききたいと思う。

## 排水路整備事業の進捗は

### 各種協議を関係機関と実施中

**問** 豊間根地区の排水路整備計画は八千代地区から勝山地区にかけての計画と思うが幹線ルートだけでなく枝線の整備も考えた計画を望むが事業の進捗状況は。

**町長** 幹線ルートの整備

完了後に枝線の整備も考えている。現在の事業の進捗状況は、河川排水管や県道横断など各種協議を関係機関と実施しており、今後用地買収等を進める。



枝線も含めた排水路整備が望まれます

## 患者輸送車等の増便を

### 利用状況に変化がなく現状で

**問** 県立山田病院が開院した。震災後の仮設病院は、訪問診療を中心とした医療を提供してきた。再開に伴い、ことし4月から訪問診療の見直しが行われた。その結果、訪問診療から外来での受診に変更になった患者もいる。その方々の通院の足

の確保が必要と思う。そのため患者輸送車等の増便を望むが。

**町長** 現在、町内4地区で週2回、患者輸送バスを運行しているが、県立山田病院の訪問診療の見直し後も利用状況に大きな変化がないので増便は考えていない。

#### その他の質問

- ◆ 国の工事で「びはん(豊間根店)」側に歩道ができないか。
- ◆ 台風10号の災害箇所への復旧状況は。



# 町有地の貸し付けは

## 使用目的により決定

**問** 現在民間に貸し付けしている町有地は何力所あり、それぞれ何年契約で貸しているのか。事業者別に面積、単価、金額など詳しく説明せよ。

**佐藤町長** 28年度における有償貸付の主なものとして、福祉関係では、施設用地として1件、貸付面積1万6800平方メートル、坪当たり年額691円、貸付金額352万円で、貸付期間は50年間、商業関係では、店

舗および駐車場用地として3件、貸付面積1万120平方メートル、坪当たり年額1428円から2009円、貸付金額328万円で、貸付期間は50年間、建設・製造業関係では、従業員宿舍及び工場用地として3件、貸付面積1万1711平方メートル、坪当たり年額330円から500円、貸付金額142万円で、契約期間は1年間から20年間で貸し付けている。

## 30年度の当初予算は

### 引き続き大型予算となる見込み

**問** 29年度の予算は359億5千万円。自主財源は、218億5千万円で全体の60・8%。そのうち基金繰入金は、197億1千万円で構成比は54・8%。28年度より37億8千万円減である。30年度はどのように考えているか説明せよ。

**町長** 震災以降、復興事

業を中心とした大規模な予算が続いており、財源としては、国からの復興交付金管理運営基金からの繰入金が多額となっている。復興事業の進捗に伴い、予算規模は徐々に縮小するものと考えているが、30年度も引き続き大型の予算になるもの見込んでいます。

# 要支援者のサービスは

## 支援体制の構築に努める

**問** ことし4月に介護保険から市区町村事業に移行した軽度の要介護についてどのように考えているか。

**町長** 介護保険制度の改正に伴い、ことしの4月から「介護予防・日常生活支援総合事業」を実施

しており、軽度の要支援者は、従来と同様のサービスを利用できる。この事業は、65歳以上のすべての方の介護予防と日常生活の自立を支援することを目的として、今後、支援体制の構築に努めていく。



阿部 幸一 議員  
( 新 生 会 )



「シルバーリハビリ体操」で介護予防・日常生活支援

# 仮設住宅の集約化は

## 計画の見直し必要



菊地光明議員  
(新生会)

**問** 応急仮設住宅の集約状況が見えてこないが、計画どおりに集約は進んでいるのか。また、予定より遅れている団地があればその理由と対処方針を示せ。

**佐藤町長** 応急仮設住宅の集約状況については、今年度中に大沢小学校庭、大沢下条、山田南小学校庭、織笠小学校庭、猿神バス停、山田高校仮設の6団地について集約を図り、今年度中の撤去を予定している。その他の応急仮設住宅については、来年度以降に団地ごとの集約化を進めていく予定としているが、町の復興工事の進捗により、住宅再建が遅れることから、集約化計画の全体的な見直しが必要であろうと考えている。



校庭の仮設住宅は早期集約が必要

### 選手強化は

### 世界を舞台に活躍できる人材の育成が必要

**問** 県は7月25日、いわて障がい者スポーツ強化指定選手に当町出身の阿部友里香選手を指定し

た。指定選手が国内外に遠征する際、選手と介助者にそれぞれ1人当たり最大20万円の支給方針のようである。このような指定方式や支給は厳しい練習をしている選手本人に対しても励みになると考える。また町民に夢と希望を与える選手としてさらなる競技力の向上をめざしてもらうために必要があると思うが。

**町長** 本町出身のパラノルディックスキー日本チームA強化指定選手の

阿部友里香選手が7月に本県で初めての「いわて障がい者スポーツ強化指定選手」に指定されたことは町民の誇りであり、パラリンピックでの活躍へ向け期待が膨らむところである。今後、阿部選手ほか山田町から日本、世界を舞台に活躍できる人材の育成、助成等については、検討が必要と考えている。

**問** 検討することだが、県は来年3月末日までの指定であり、町も早急の検討が必要と考えるが。

**白土生涯学習課長** 町としても早急に結論を出すようにする。

#### その他の質問

- ◆町民グラウンドの原型復旧工事は
- ◆町有地の民間貸付面積は
- ◆町内小学校の複式学級数は
- ◆山田駅建設スケジュールは
- ◆鯨と海の科学館の指定管理者制度の行程は



# 台風10号による 被災箇所の復旧状況は

## 29年度中にすべての工事が 完了するよう努める



佐藤克典 議員  
(政和会)

**問** 県内に大きな被害をもたらした台風10号の襲来から1年が経つが、町道等において未着工の被害箇所が多く見受けられる。これからの台風シーズンを迎えるに当たり、大雨による被害が拡大するおそれがあることから早急に工事着手を図りたい。未着工箇所の発注計画、完成時期について伺う。

**町長** 土木施設の災害査定により確定した災害復旧事業は、8月末時点で22件中3件が業者決定している。未着工箇所については9月中に入札公告を行い、順次、発注を進めていきたいと考えており、29年度中にはすべての工事が完了するよう取り組み。

### 冷害が懸念される 対策を講ずるべきでは

#### 今後とも情報把握に努め 適切な情報を提供する

**問** 8月の県内の天候は低温や日照不足に見舞われた。この長雨、低温により、多くの農作物が減収となっている。とりわけ、本町の基幹作物である水稲においては、障害不稔やいもち病の多発が懸念される。冷害対策を講ずるべきと考えるがど



着工が待たれる台風10号の被災箇所（町道山内線）

うか。

**佐藤町長** 7月末からの日照不足および長雨による水稲に対する影響については、関係機関と連携しながら状況把握に努めている。宮古農業改良普及センターが8月28日に実施した生育調査では、地域および栽培方法によりばらつきがあるものの、サンプリングした稲については概ね受粉しているとの調査結果である。しかし、今後の気象条件により、成熟の遅れや、いもち病の拡大が懸念されることから、引き続き関係機関と連携し、情報把握に努め、病害防除の徹底等について情報提供を行う。

### 三陸沿岸道路開通後の 経済対策は

#### 魅力あるコンテンツづくりに 取り組み、町内外に発信

**問** 三陸沿岸道路の宮古・山田間は今年中、また2、3年後には全線が開通予定と聞いている。物流等においては生産の効率性の向上すること、より一層の利便性が図られる。一方では、目的の地まで三陸沿岸道路を利用することにより、本町での県内外からの消費が落ち込むことが懸念される。これらを解消するために四季を通し観光を軸としたさまざまな施策が必要と思われるがいかがか。

**町長** 本町に観光客を呼び込み、交流人口を拡大することは、町内の消費拡大につながることから、町体験観光推進協議会を中心とした体験プログラムの開発や地域資源を活用したイベントの開催などを通じて、魅力あるコンテンツづくりに取り組み、町内外に発信していく。

# 震災を風化させない メモリアルパーク整備を

## 施設内容や場所は今後の課題



議員 清貴 関  
(政和会)

**問** 御蔵山は津波襲来時、多くの命を救った。震災を風化させず後世に伝えるメモリアルパークとして整備し、復興のシンボルとする考えは。

**佐藤町長** 御蔵山は中心部の多目的広場とする。震災メモリアルパークは施設内容、その位置等は今後の課題。

**問** 御蔵山の維持管理は。

**古館財政課長** シルバー人材センターに草刈り等を依頼している。

**問** 八幡町の旧山田病院の施設跡の利用計画の検討時期は。

**町長** 今年度、内部検討委員会を組織し進める。

**問** 現在の消防署の施設、土地の利用は。

**町長** 庁内で議論を深めていく。



震災時に多くの命を救った御蔵山

### まちなか交流センター 利用料免除の拡大は

#### 現在の減免規定で対応

**問** まちなか交流センターの利用申請を施設で直接できないか。

**町長** 施設の一体管理を考え、役場で申請を受け付けている。

**問** 老人クラブや子供会等の利用料の免除を他の公の施設と同じに。

**武藤水産商工課長** 現行

の減免規定で対応したい。

**問** 海底が見える観察船で震災復興クルーズを考え、マリントーリズムとともに宿泊施設と連携し、滞在型観光に結びつけ交流人口を増やす観光を考えられないか。

**町長** 船舶を所有する事

業者が採算性を求めるため水中観察船を利用した事業は課題が多い。

**問** 国道沿いの危険区域の町有地の産業用地は賃貸等の情報提供をしているか。

**町長** めどがついた所から順次「復興かわら版」等で公募を行っている。

#### 学校適正配置

#### 協議を進めているか

#### 検討委員会の提言で進める

**問** 将来の本町の子どもの教育環境を考え、学校の適正配置について町長部局と教育委員会で協議を行うなどの体制を整えて進めているか。

**佐々木教育長** 町長部局とは教育環境について協議をしており、今年度、山田町学校規模適正化検討委員会を立ち上げ、委員会からの提言等により進めたい。

**問** 6年後には豊間根中は生徒数が54名、山田中の生徒数は211名と予測され減少傾向が続くようであるが、一緒に考えることも考えなければならぬのでは。

**町長** 仮定の話には答えられない。

**問** 南小の校庭周辺のフェンスが老朽化しているが、撤去する応急仮設住宅周辺のフェンスを有効活用できないか。

**教育長** 有効活用できるように関係機関と協議する。



# 医療費窓口負担 免除の継続は

## 県を中心に

### 県内全市町村で検討

**問** 被災者の医療費窓口負担の免除が、本年12月末日で打ち切られる予定である。本町の復興は道半ばであり、仮設住宅から出られないでいる被災者もいる。被災者にとって経済面、健康面はもとより、精神面も支えられているこの制度を来年も継続すべきであると考え

**佐藤町長** 本町の国民健康保険は、東日本大震災

以降、医療費の増大などにより財政調整基金が底をつくなど財政状況が著しく悪化した。このことから、自主財源の適正確保が必要と判断し、29年度から保険税率改正を行った。現在、30年度の国保広域化に向け、財政の健全化を図っているところである。本町においては、医療費増大の要因となっている同制度の継続について慎重にならざるをえない。現在、岩手県を中心に県内全市町村で検討が行われているので、その判断について明確にできない状況である。

#### 交通安全

### 宇名田地区鉄橋下の道路 見通し改善を

#### 現実的に実施は困難

**問** 豊間根宇名田地区のJR山田線鉄橋下の道路は、カーブが急で見通しが悪く交通事故の危険もあり、改善が必要である。見通しがよくなるように町としてJRに申し入れし、地域の交通安全

を確保すべきでは。  
**町長** 町道の見通しの改善についてはカーブ内側の高架橋を支える橋台の

改良が考えられるが、JR東日本盛岡支社に確認したところ、改良による鉄橋への構造的影響、橋台の撤去、再設置による莫大な工事費用が見込まれること、また、改良を実施することになれば予定している開業時期に影響することなどで現実的に実施は困難であると考え

### 被災者の住まいの再建と 支援の在り方は

#### 個別に相談に応じている

**問** 住まいの意向未定世帯はどれくらいあり、決められないでいる理由は。また住まいの再建が決まっていれば仮設住宅に3人以上で暮らしている世帯には仮設を出るまでの間だけでも空室を提供したかどうか。  
**町長** 8月末時点で確認している意向未定は9世

帯である。その主な理由は、家庭内での再建方法の意見の相違や再建地区を決められないといった内容だ。空室の提供は身体的または精神的な理由で現在の仮設住宅の間取りでは日常生活に支障があり配慮が必要と判断される場合個別に相談に応じている。



急カーブを解消し交通安全確保を

#### その他の質問

◆山田病院医師退職・引き止める  
努力を最大限行ったか

木村洋子 議員  
(日本共産党)





町ホームページ

# 観光や災害対応を 始めとした内容充実を

## 見やすくなるよう改修を検討



田老賢也議員  
(政和会)

一般質問

**問** 町のホームページ（以下HP）について、昨年ある程度は改良されたが、内容や管理手法にまだまだ多くの問題がある。大槌町等の近隣自治体と比べてデザインも使いやすさも劣り、改修が必要。今後のHP更新や内容充実をどのように行っていくのか。

**佐藤町長** 新たなシステム改修を検討している。内容更新の迅速化に加え、デザインの統一も図り、より見やすく検索しやすくなるようにする。

**問** 管理は誰がどのように行うのか。現在は役場職員が管理・更新を行っているが、職員は数年で人事異動があり、専門知識と実務が必要なHP管

理を任せるのは非効率。専門業者に委託すべきでは。

**佐々木総務課長** 業者に委託するかどうか検討する。

**問** 災害時の情報公開について伺う。昨年のHP改修で災害時の避難情報に掲載されるようになった。しかし避難所情報や被害内容などは一切掲載されない。これらの情報は最低限発信すべきでは。

**総務課長** 災害時には関連情報を最優先に掲載し、内容も発信可能なものは発信していくようにする。

**問** 災害情報の公開は今の管理体制でも可能なので、次の災害発生時からその通り実行して頂きたい。

次に各課が担当する掲載内容について伺う。例として子育てを挙げると、今年度から子育て包括支援を町として取り組んでいるにも関わらず、

HPの情報不十分。子育てで大変な人たちは役場に行く前にHPで情報確認できれば便利だが、現状では確認し辛い。また教育関連の情報も子育てページに一切掲載されていない。これは情報を掲載する気が無いのか、それとも管理過程でストップが掛かるのか。

**野口健康子ども課長** 更新できないのは、各課の担当にHP更新の専門知識がないためである。

**問** 役場職員全員に専門知識が無いのは当然で、それでも更新できる体制を整えなければならぬ。それが出来ないのがまさに現在の管理体制の問題点。先ほども伝えた通り、システム構築を外注するなりして管理・更新を容易にし、改良すべき。

**総務課長** 町のHPはインターネット上の玄関として重要なものと認識しており、良いものになるよう検討を進める。



より見やすく内容のあるHPを（大槌町HPと当町HPの比較）

◆山田第3団地の土石流対策はその後どうなったか  
◆山田町総合戦略のうち特に「地域商社設立」および「公募型事業」の進捗は

その他の質問

議会改革検討特別委員会

第1回中間報告書を提出

決定事項

定例会の案内

議会改革検討特別委員会では、28年第3回定例会において設置されて以降、小委員会を18回、全体会を9回開催し、さまざまな課題について調査・検討をしています。

9月6日の委員会では、1年間の検討結果および今後さらに検討していく事項について「中間報告書」にまとめました。このページでは、今後議会として取り組んでいくべきとした決定事項とさらに検討していくべき事項をまとめました。

① 定例会ポスターの掲示(地区の掲示板等、役場、中央公民館や中央コミュニケーションセンターなど)

② 役場の1階に持ち帰り用のチラシを設置

③ 議会だよりに定例会開催予定日を掲載

※ホームページおよび防災行政無線での案内は継続します。

各種団体との意見交換会

情報交換や団体が抱える課題を共有し政策提言につなげることをめざし、意見交換会を開催します。

委員会等での質疑方法および回数

これまでどおり一括質疑

今後の検討事項

・議会基本条例

・議会インターネット中継

・近隣自治体議会との合同研修会

・通年議会

・議会広報編集特別委員会の常任委員会化

・政務活動費

・議員報酬

問方式とし、質問は原則として1議題につき3回までとすることとした。

一般質問  
一般質問の持ち時間は、現状どおり20分(第1回定例会および町長所信表明がある場合は25分)とすることとした。

常任委員会委員等の任期

常任委員会委員、議会広報編集特別委員会委員の任期を2年間に変更することを提案。その後、正副議長および一部事務組合等議会議員の任期の変更についても検討すべきとの意見があり、検討の結果、常任委員会委員等の任期の変更は行わないこととなった。

今後は、それぞれの事項についてさらに調査・検討を進め、更なる議会改革につなげ、町民に対し開けた議会となるよう進めていきます。

「各種団体との意見交換会」を開催します

このページの上段で議会改革検討特別委員会の決定事項として載せている「各種団体との意見交換会」を開催します。今後の議会だよりでは意見交換会の様子等を掲載していく予定です。

# みんなの「声」

vol.3

町民の皆さまからの町への提言、思いなどを紹介します。今回も表紙(1ページ)に登場いただいた家族にお話を聞きました。

大沢在住の小野さん家族

どんな子供に育ってほしいか

元気よく健やかに育ってほしい。

山田の好きなところは

山田湾を見ると心が和む。湾が見えなくなるような防潮堤はつくってほしくない。

山田町に期待するところは

漁業とスポーツに力を入れてほしい。

12月定例会は12月12日に開会予定です。お気軽にお越しください。

これであなたも議会博士!?

## ギカイ no 豆知識

第4回

今回のお題

### 質疑と一般質問

ヤマダ君、今日は「質疑」と「一般質問」について勉強するぞ！  
質疑とは議案等の不明な点を聞いて明らかにすること、一般質問とは議案と関係なく町の行財政全般の現状や将来を聞くことなんじゃ！

議会ってなに？どんな仕組みがあるの？  
そんなヤマダ君の疑問に、物知り博士が分かりやすく答えます。

同じような言葉なのに全然違うんだね。  
9月定例会では7人の議員さんが一般質問をしたんだね！

おお、議会だよりをしつかり読んでいるようじゃな！  
一般質問では、議員が町政や地域に対してどういう考えや主張を持っているかがわかり、何よりも常に政策に取り組む議員にとって最も重要で意義のある発言の場なんじゃよ。

なるほど、そうなんだ！  
ということ、一般質問は議員さんの見せ場なんだね。  
次回の定例会でも注目だね！



## あともがき

▼砂浜を再生し、6年ぶりに再開された浦の浜海水浴場。多くの海水浴客が期待された今年の夏でしたが、7月末からの低温、日照不足によりまばらな海水浴客。特にも本町は8月3日から16日の2週間の日照時間はわずか3・2時間、降水量は平年の3倍以上の312ミリと本町に寒い夏でした。▼本町の基幹作物である水稲においては、この冷夏により平成15年以来的冷害が心配されましたが、8月20過ぎの天候の回復もあり一部の圃場で障害不稔が見受けられるものの収穫皆無という最悪の事態は回避でき、胸をなでおろしているところです。  
▼異常気象はあらゆる産業に大きな影響をもたらします。来年は暑い夏を期待したいものです。(佐藤)

### 発行責任者

議長 昆 暉雄

◆議会広報編集特別委員会

委員長 吉川 淑光  
副委員長 佐藤 克典  
委員 木田 賢也  
" " " 村老 清貴

関木 清貴

